

報道資料

平成 28 年 3 月 22 日

子育て支援企業の JP ホールディングス (証券コード 2749)

保育士志望の学生に奨学金制度をスタート

待機児童問題解決に向けて最大 120 万円の奨学金を支給

子育て支援事業最大手の株式会社 JP ホールディングス (荻田和宏代表取締役・東証 1 部) は、保育園の待機児童問題の解決に全力で取り組んでおります。

グループのなかで保育園・学童クラブ・児童館の運営、すなわち子育て支援の現場を担当しているのが株式会社日本保育サービスです。日本保育サービスはグループの基幹会社で、毎年、200 名規模の新卒の保育士を採用しています。

日本保育サービスは、保育士を志望する学生を対象に新たに奨学金制度をスタートさせます。

応募資格は、経済上の理由で学資に充てること、品行方正、学業優秀などいくつかの要件が必要です。卒業後は日本保育サービスに就職を希望する学生を対象としています。

応募のなかから選考して奨学金を支給いたします。奨学金は月額 5 万円、年 60 万円を最長 2 年間 (最大 120 万円) 支給します。返済の必要はありません。

＊＊＊ JP ホールディングスグループが、この奨学金制度を新設したのは、社会問題化している保育士不足の解決に取り組むためです。待機児童数を低減するには、ボトルネックである保育士不足を解決することが不可欠です。保育士を一人でも多く採用し、待機児童数を低減したいと切望しております。

保育士を目指す学生で、経済上の理由で修学が困難な者に奨学金を支給して、児童福祉に携わる人材を育てたい——こうした社会貢献が求められていると判断しました。

学校法人敬心学園日本児童教育専門学校 (2 名) に 4 月から奨学金の支給を開始します。現在、さらに 5 月末締め切りで奨学金支給を求める学生を募集しています。

今後は全国規模で保育士を目指す学生にこの奨学金支給を広げる方針です。

報道各位からの問い合わせ先
(株) JP ホールディングス 東京支社
社長室 楚山・小倉
TEL 03-5332-7888
FAX 03-5332-7889